NEWSRELEASE

2026 年 11 月 19 日

報道関係各位

株式会社ファミリーマート

店舗従業員の業務負荷軽減と省力化に向け 飲料補充ロボットを 2027 年 1 月から導入開始 ～1 日あたり約 7 割の業務削減を実現～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：小谷建夫）は、2026 年 9 月に創立 45 周年を迎えました。継続して取り組んできた 5 つのキーワードを土台とし、「いちばんチャレンジ」を合言葉に活動をしています。このたび「いちばん革新的・最先端」を目指した取り組みの一環として、店舗従業員の業務負荷軽減と店舗運営の効率化を目的に、飲料補充業務を自動化する「飲料補充ロボット（TX GHOST）」および「デジタル在庫棚（スマートシェルフ）」の本格導入を 2027 年 1 月から順次開始いたします。2020 年から Telexistence 株式会社（本社：東京都太田区、以下「TX」）とともに研究・改良を重ねてまいりました。このたびの導入により、飲料補充作業時間を 1 店舗あたり 1 日約 7 割の削減し、シフトの最適化を通じた店舗運営レベルの向上に繋げてまいります。





飲料補充ロボット「TX GHOST」補充動画

■業務負荷の軽減と業務効率化による店舗運営力の向上

これまで、飲料冷蔵庫内における補充業務は、店舗従業員が納品された商品を冷蔵庫内の在庫棚へ整理し、さらに売場側の在庫状況を確認しながら補充を行う必要があり、店舗運営における大きな負担となっていました。ファミリーマートでは 2020 年からの店舗実証実験を通じ、現場のオペレーションに即したロボット開発を TX と一体となって推進してまいりました。今回本格導入する飲料補充ロボットは、2 つのシステムで構成され、これらの業務を大幅に効率化いたします。

①飲料補充ロボット

売場棚へ 24 時間、陳列を実施します。1 日あたり最大約 1,800 本の陳列が可能であり、店舗の販売実績を独自の AI システムが分析し、売れ筋商品から優先して陳列を実施、機会ロス削減により売上の最大化に繋げます。

②デジタル在庫棚

デジタル在庫棚は、特別な設定は不要で初めに 1 本目の商品をスキャンして並べるだけで、どこに何の商品がいくつあるかを管理するとともに、各アイテム毎に必要な数を AI で算出、提案する事が可能です。また、混載も可能であり在庫整理も不要です。

■先行導入店舗における省力化効果

長年にわたる先行店舗での実証実験と改良の結果、在庫管理・補充業務の効率化と売場補充の自動化により、1 日あたり約 7 割の業務削減効果が確認されました。本システムの導入により、店舗従業員の業務はスマートシェルフへの補充のみとなり、売場への補充はロボットが自動で行います。

ファミリーマートは、本システムの展開を推進し、全国の加盟店におけるさらなる店舗運営の効率化と、店舗で働く店舗従業員にとって働きやすい環境の構築を推進してまいります。

以上

＜参考情報＞

■「いちばんチャレンジ」に込められた思い

ファミリーマートは、2026 年 9 月に創立 45 周年を迎えました。時代の変化に合わせ、コンビニの枠を超えてお客さまに「いちばん」と選ばれる存在であり続けるため、私たちは「あなたのいちばんをたくさん作る『いちばんチャレンジ』」を新スローガンに掲げました。

この合言葉のもと、「おいしい」「ちょっとおトク」「わくわく楽しい」「ステキが見つかる」「革新的・最先端」「環境にやさしい」「働きたい」「地域に愛される」という 8 つの分野に基づき、ファミリーマート史上最大の挑戦を続けてまいります。

45 周年特設サイト：https://www.family.co.jp/campaign/spot/2026_45th.html